

# ささりんどう



## 学校教育目標

感動し 共に喜びあえる児童の育成

児童数  
男子 158名  
女子 161名  
合計 319名

校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

鴻巣市立箕田小学校 学校がよりNo.10 令和2年11月30日

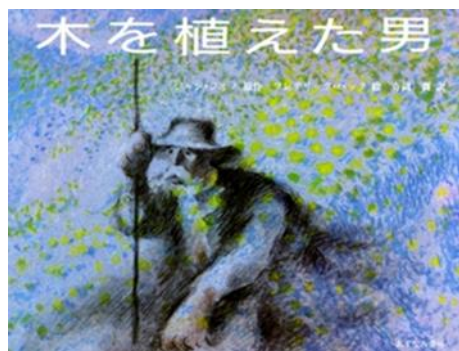


## 読書で人生を豊かに、より深く

校長 齋地 満

11月25、26日に一泊二日で鎌倉・箱根方面へ修学旅行に行ってきました。3密を避けるために行程を見直し、宿泊先の協力も得て箕田小だけの宿泊にさせていただくなど、安全・安心に配慮して実施することができました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大は第3波が来ているようです。引き続き、マスクの着用とうがい手洗いの励行をしっかりと行っていきます。ご家庭におかれましても、朝の検温と体調確認をお願いいたします。

さて、本校では、毎月21日を「親子読書の日」としています。読書の秋にちなんで、「木を植えた男」という本を紹介します。絵本なのですが、フランスの作家ジャン・ジオノの短編小説で、高学年でも楽しめる内容です。約50ページと短く、30分ほどで読むことができます。同作を原作とした短編アニメは、アカデミー短編アニメ賞を受賞しました。物語は、旅をしていた若者が、荒野で一人暮らしをしている寡黙な初老の男に出会うところから始まります。男の名はブフィエ、住む人の心がすさむほど荒れ果てた土地を蘇らせようと思い立ち、毎日毎日100粒のどんぐりを植え続けていました。すでに3年間で10万個の種を植え、そのうち根づいたものが1万本ほど……。そうやって、不毛の地に生命の種を植え付けていました。5年の歳月を戦場で過ごした若者が、再び男を訪ねると、荒野を覆うようにナラの林がありました。戦争という、途方もない破壊をもたらす人間が、一方では、偉業を成し遂げていたのです。その後もブフィエは幾多の挫折にあいますが、くじけることなく、一人で木を植え続けます。やがて年月が流れ、いつしか林は広大な森となり、干上がった川に水が戻ります。さびれた廃墟の村には人々が集まり、楽しく希望あふれる生活ができるようになります。しかし、彼らはブフィエの存在も、一人の男が森を再生したことも知りません。名誉も報酬も求めない、人びとのことを思いやる優れた行いは、長い年月をかけて確かな証として地上にしるされ、のちの人々にあまねく恵みをほどこしたのです。



ジャン・ジオノ 原作 寺岡 襄 訳  
フレデリック・バック 絵 あすなる書房

信念をもってやり遂げることは大変です。しかし、充実した日々と達成感、成長とともに人生を豊かにしてくれます。ぜひ、そのような体験をお子さんに伝えてみてはどうでしょうか。鴻巣市の図書館にありますので、機会があれば、手に取ってご覧になってください。

読み聞かせのボランティアの方々から、子供たちがよくお話を聞いてくれるとお褒めの言葉をいただきます。セカンドブック事業で本を受け取った1年生は、大喜びです。子供は、本が好きです。読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしてくれます。また、人生をより深く生きる力を身に付けていくことができます。心に残る本と出会えますように。

- お知らせ**
- ・ 育児休業中の堀部いずみ教諭に代わりまして、高橋真純教諭が着任しました。算数を中心として、ティームティチングの授業を行います。また、堀部教諭が女のお子さんを出産しました。
  - ・ 児童本人に、発熱等のかぜ症状がある場合は、登校できません。（出席停止となります。病院受診をお願いします。快癒した翌日から登校可です。）
  - ・ 同居家族に発熱等のかぜ症状がある場合は、原則登校の自粛をお願いします。（市の指導により変更しました。出席停止となります。病院受診結果を受けての判断に協力をお願いします。）